



飛驒匠のDNAを受け継ぐものづくりのまち

メイド・バイ飛驒高山認証

市では、飛驒高山ブランドコンセプトに合う独自性と信頼性の高い地場産品を「メイド・バイ飛驒高山認証産品」として認証しています。ものづくりの匠たちの熱い想いに触れてください。



美しく繊細な編み目が特徴の「小屋名しよつけ」。久々野町小屋名で農閑期に作られてきた伝統ある台所用品です。

丹念に編み込まれたしよつけは、丈夫で長持ちします。野菜の水切りや米上げに使用され、古くから飛驒人に親しまれてきました。

しかし、材料の調達から仕上げまでの全てが手作業で、決して割の合う仕事ではありません。高度経済成長期以降は、年々製作する家が減っていったと言います。

「伝承が途絶えてしまいかもしれない」

そう危惧した森久治さんは、数人の有志と家々を訪ね歩き、技術を学びました。森さん自身はしよつけ作りをする家の生まれではなかったのですが、製作にも熱心に取り組みました。

平成8年には地域として立ち上がり、「小屋名しよつけ保存会」を設立。現在、森さんが代表を務めています。

— 手仕事が生み出す本物 —

日常に生きる伝統、つくり手の愛



▲ざるの片側に口がある「片口しよつけ」は小屋名だけのもの

「若い人や、地元の人にも作ってもらえるといいな」と願って、後進の育成にも力を入れています。毎年、まちづくり協議会など地域と協力して、講習会や学校での講演を行い、跡を頼める指導者も育ててきたとのこと。

最近では飛驒高山まちの体験交流館での体験や購入もできるようになってきました。

「体験に来てくれた人が保存会に入ってくれたんや」と頬を緩める森さんの横顔はとても印象的でした。

現在の会員は22人。久々野以外の会員も増え、伝統をつなぐ活動が続いています。

No.20
小屋名しよつけ
保存会

市長室へ ようこそ

●市民と市長の面談日

10月19日(火) 9:00~11:45

*事前にご予約ください

*新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止する場合がありますのでご了承ください。

市長室直通FAXもご利用ください FAX●36-2060

問合せ 秘書課 ☎35-3130



ご意見・ご提案をお寄せください

市民が主役のまちづくりを進めるため、市政へのご意見やご提案を受け付けています。

【方法】

- ①ファクス 35-3174へ[FAX]
- ②Eメール [HP]のお問い合わせフォームから送信
*Eメールで回答をお送りする場合がありますので、送信元ドメイン「city.takayama.lg.jp」の受信許可を設定してください。
- ③ご意見箱 本庁・各支所のご意見箱に投函

問合せ 広報公聴課 ☎35-3134

義援金の募金箱を設置しています

市では、被災された方を支援するために、インフォメーション(本庁1階)と各支所地域振興課に義援金箱を設置しています。

集まった義援金は、日本赤十字社岐阜県支部を通じて被災された方々に届けられます。

義援金名称	募金箱設置期間
令和3年7月大雨災害義援金 (静岡県、島根県、広島県)	12月28日(火)まで
令和3年台風第9号等 大雨災害義援金 (青森県)	
令和2年7月豪雨災害義援金 (福岡県、熊本県)	令和4年 3月31日(木)まで
令和3年8月大雨災害義援金 (福岡県、佐賀県、長崎県、島根県、広島県)	
令和3年長野県茅野市土石流 災害義援金(長野県)	

*配分先は追加される場合があります。

問合せ 日本赤十字社高山市地区事務局(福祉課内) ☎35-3356

編集・発行/高山市企画部広報公聴課

〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地

TEL/0577-32-3333(代)

FAX/0577-32-7000(市長室直通)

FAX/0577-35-3174(広報公聴課直通)

E-mail/kouhou@city.takayama.lg.jp

HP/https://www.city.takayama.lg.jp/

携帯用HP/http://mobile.city.takayama.lg.jp/

防災行政無線の内容は電話でも確認できます

☎0180-995-690